

# 2002年災害事故事例

## 1. はじめに

2002年も様々な災害、事故がおこった。日本の気象災害を概観すると2000年の東海地方を中心とした豪雨災害のような前線の活発化による記録的な大雨といったことはなかったため、比較的災害の少ない年であった。しかし、梅雨期の7月に、台風6号、台風7号と1週間に2つの台風が本土に上陸した(7月の上陸は1951年以降では1993年の3回が最多、2回は1972年に1回あっただけ)、10月には台風21号が川崎市付近に上陸、関東・東北地方を時速約80kmの高速で縦断し、茨城県では送電鉄塔9基が倒壊した。これらの台風による被害は、死者・行方不明者13人、全半壊・一部損壊した住宅約1,200棟、床上・床下浸水した住宅約12,000棟であった。

地震・噴火災害については、三宅島噴火は依然として火山ガスおよび泥流に対する警戒が必要とされ、島民が島外に避難しなければならない状態が続いている。

火災は、化学工場や製油所の火災などの特殊災害が目だった年であった。例えば、3月に宮崎県の化学工場の火災、4月に北海道の製油所の爆発火災、6月に秋田県の精錬所の発煙硫酸の漏洩、10月に長崎県での船舶火災などがあげられる。いずれにしても、損害額は大きかったが、死者・負傷者の少ない災害・事故であった。一方、見方を換えると食品会社の牛肉偽装事件、銀行のシステム障害、電力会社の原発データ隠し等の人災による事件・事故が目立って発生した年であった。

世界的には、各地で異常気象が発生し、各国経済に深刻な影響を及ぼした。8月のヨーロッパ東部の大洪水(経済損害額は、US\$185億。保険損害額は、US\$30億。死者230人)8月の北朝鮮・韓国の台風15号(経済損害額は、US\$45億。保険損害額は、US\$1.7億。死者150人)6月の中国の洪水(経済損害額は、US\$31億。死者500人)7~12月のオーストラリアの干ばつ(経済損害額は、US\$30億)4月の米国の竜巻(経済損害額は、US\$20億。保険損害はUS\$15億。死者10人)等の巨大自然災害が発生した。また、死者の多い自然災害として、3月のアフガニスタンの地震(死者2,000人)、5月のインドの熱波(死者1,100人)が発生した。

ミュンヘン再保険会社によると、2002年の世界における巨大自然災害の数は、700件で1990年代の平均である650件を上回り、死亡者数は11,000人(前年は25,000人)であるが、経済損害はUS\$550億(前年はUS\$350億)保険損害はUS\$115億(前年と同じ)と巨額な損害が発生した年であった。

ここでは、種々の災害、事故の中から一定の基準に基づき個別の事例を抽出し、2002年の年表としてまとめた。個別の災害、事故事例は、新聞報道、雑誌などから、下記の基準(海外は事例が多くなるので基準を大きくした)のいずれかに該当する事例を抽出することを原則とし、この他に2002年の特徴と思われる事例を掲載した。したがって、掲載漏れがあること、その後の事実変化があることを始めにお断りしておく。

抽出基準		国内	海外
すべての事例	死者 負傷者	10名以上 30名以上 (食中毒のみ100名以上)	30名以上 100名以上
気象災害、地震・噴火、 火災・爆発事例	罹災棟数 罹災面積	10棟以上 1,000平方m以上	10棟以上 1,000平方m以上
自動車事故	罹災車両数	10台以上	10台以上

## 2. 2002年の災害事事故事例

2002年災害事事故事例は、国内事例と海外事例に分類し、事故種別および発生日順に掲載した。

掲載事故種別は、気象災害、地震・噴火、火災・爆発、自動車事故、鉄道事故、船舶事故、航空機事故、中毒、その他に区分し、国内事例94件、海外事例93件の合計187件を掲載している。

### (1) 国内事例

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	1	2	東海地方	2日夜から東海地方を中心に大雪が降り、名古屋市で1月としては41年ぶりの大雪となる積雪17cmを記録した。新幹線徐行により27万人が影響を受けた。高速道通行止め、名古屋空港滑走路閉鎖など交通機関乱れ正月のUターン客に影響した。車のスリップ事故、転倒等による負傷者32人。
	1	21	東海地方、 関東地方	東海地方から関東地方にかけて雷雨や竜巻、突風が発生した。成田空港では、到着便計35便が目的地外着陸し、羽田空港では43便が欠航した。突風により、さいたま市で家屋の屋根や窓ガラス破損などの被害35件が発生した。
	7	9	太平洋側 各地	9日から11日にかけて台風6号と梅雨前線の影響で、西日本の太平洋側、東海・北陸地方、関東地方から北海道にかけて広い地域で大雨となり、河川の増水や氾濫、浸水や土砂災害が発生した。台風6号は西日本の南海上に北東にゆっくりした速度で北上し、千葉県富津市付近に上陸、さらに三陸沖を北上し北海道釧路市付近に再上陸した。また、台風上陸前に群馬県佐波郡境町で竜巻が発生し、住家被害は全壊7棟、半壊9棟、一部損壊65棟であった。全国の住家被害は、全壊14棟、半壊24棟、一部損壊147棟、床上浸水2,473棟、床下浸水7,492棟であった。死者・行方不明7人、負傷者29人。
	7	14	北陸、東 海、甲信地 方	台風7号は中心気圧975hPa、最大風速30m/sの勢力で九州南岸、本州南岸を北東に進み、伊豆半島南部に上陸後、房総半島南部に再上陸し三陸沖を北上した。梅雨前線と影響しあい北陸地方や東海地方、甲信地方では14日から16日にかけて大雨となり土砂災害や浸水被害が発生した。全国の住家被害は、全壊6棟、半壊25棟、一部損壊162棟、床上浸水23棟、床下浸水224棟であった。負傷者9人。
	7	25	九州南部	台風9号の接近に伴い、大分県、宮崎県、鹿児島県で激しい風雨に見舞われ、住家被害は一部損壊20棟になった。死者1人、負傷者1人。
	8	10	広島県	県南西部で落雷を伴う局地的な集中豪雨が起き、崖崩れや浸水被害を受けた。住家被害は、全壊1棟、一部損壊1棟、床上浸水1棟、床下浸水87棟。死者3人、負傷者1人。
	8	19	神奈川県、 秋田県、 栃木県	台風13号の接近に伴い、強い風雨に見舞われ、住家被害は床上浸水5棟、床下浸水83棟であった。
	8	21	東京都内	7月以降、東京都内で熱中症により救急搬送された患者数が21日、過去10年で最多の629人に達した。東京消防庁は7月末から8月初めにかけての関東地方の猛暑が原因とみている。
	9	5	沖縄県	台風16号は、沖縄本島に上陸し75時間にわたり沖縄県内を暴風域にまきこんだ。住家被害は、全壊11棟、半壊35棟、一部損壊196棟、床上浸水6棟、床下浸水39棟であった。負傷者31人。
	10	1	東日本	秋雨前線の影響で9月30日から雨が降り始め、台風21号接近に伴い東海などで1日午後から大雨が降った。夜、台風は神奈川県川崎市付近に上陸、太平洋岸を北上し北海道苫小牧市付近に再上陸した。茨城県潮来市、鹿嶋市で送電鉄塔9基が強風により倒壊した。住家被害は、全壊7棟、半壊11棟、一部損壊383棟、床上浸水203棟、床下浸水1,352棟。死者5人、負傷者88人。
10	7	鹿児島県、 愛知県、神 奈川県、伊 豆・大島	日本付近を通過した低気圧の影響で神奈川県横須賀市、東京都大島町、鹿児島県加世田市と鹿児島市、愛知県南知多町でF1～F2の竜巻が発生した。横須賀市では、住宅、店舗など約100棟の屋根や窓ガラスに被害があった。南知多町では住宅など27棟の屋根や窓ガラスに被害があった。負傷者2人。	
火災・爆発	1	5	大阪府 岬町	山火事が発生し、強風にあおられ雑木林など80haを焼いた。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
火災・爆発	1	14	広島県 大竹市	電子機器部品工場から出火し、鉄骨スレート葺き2階建て工場延べ約1,400平方mを全焼した。
	1	16	静岡県 静岡市	製材所から出火し、住宅、倉庫、店舗などに延焼、計17棟約1,600平方mを全半焼した。
	1	26	三重県 海山町	建物密集地域にある木造2階建て住宅から出火し、住宅など計13棟約900平方mを全半焼した。負傷者1人。
	2	4	兵庫県 赤穂市	自動車解体業の作業場から出火、山積みの廃車約150台を焼き、さらに裏山の雑林に燃え移り山林約27haを焼いて鎮火した。
	2	11	秋田県 昭和町	強風時に建物密集地域で、木造2階建て住宅から出火し、住宅や倉庫、作業場など計22棟約2,260平方mを焼失した。死者1人、負傷者3人。
	2	11	大分県 別府市	木造2階建てアパートから出火し、強風にあおられ、隣接する元旅館、店舗、住宅に延焼、計5棟延べ1,600平方mを全焼した。
	2	16	神奈川県 海老名市	運送会社の倉庫から出火し、鉄骨平屋建て倉庫3棟約1,400平方mを全焼した。
	2	20	群馬県 大間々町	建物密集地にある木造平屋建て製材工場から出火し、隣接する木造住宅など計10棟延べ1,280平方mを焼いた。
	2	25	兵庫県 尼崎市	阪急塚口駅北側すぐの商店街の店舗から出火、狭い通路の両側に並ぶ木造店舗に燃え移り、住宅兼店舗約30棟延べ約3,300平方mを焼失し、約10時間後に鎮火した。この影響で阪急伊丹線は運行ストップした。
	3	10	茨城県 真壁町	加波山から出火し、山林など約55haを焼き約27時間後に鎮火した。
	3	12	宮崎県 延岡市	化学会社の鉄筋コンクリート5階建て（延べ面積54,000平方m）ナイロン66紡糸工場の1階連続紡糸設備から出火し、黒煙を数百m上げ燃え、防火隔壁により区画された建物の北部分15,000平方mを焼失し21時間後に鎮火した。
	3	12	茨城県 水府村	男体山山頂付近から出火し、山林など約110haを焼き約70時間後に鎮火した。
	3	17	宮城県 丸森町	次郎太郎山西側から出火し、山林など約130haを焼き約40時間後に鎮火した。
	3	20	岐阜県 羽島市	食品加工会社の鉄骨3階建て工場から出火し、延べ約4,000平方mを全焼した。
	3	21	千葉県 成田市、 栄町	山林2ヶ所から出火し、計100haを焼いた。
	3	21	長野県 松本市	浅間温泉東側山林から出火し、突風のため山林など約143haを焼き約46時間後に鎮火した。また、民家など7棟を全半焼した。
	3	25	青森県 木造町	酒造店から出火し、棟続きの木造一部2階建て住宅兼酒蔵兼工場の1棟約1,600平方mを全焼した。
	4	2	岡山県 総社市	通称・お灰山で山火事が発生し、雑木林など約80haを焼いた。
	4	5	栃木県 宇都宮市	住宅密集地域から出火し、風にあおられ民家や店舗など10棟約1,150平方mを全半焼した。
	4	5	岐阜県 岐阜市、 各務原市	岐阜市にある山の山頂付近から出火、火は風にあおられ山伝いに南東の各務原市に飛び火し、山林約510haを焼失して約27時間後に鎮火した。負傷者1人。
4	15	北海道 苫小牧市	製油所の重油直接脱硫装置から爆発音とともに出火した。火災は約15,000平方mの敷地に設置されている装置の一部、半径約30mの範囲を焼き、約10時間後に鎮火した。製油所では重油の供給を止め、装置内に残った約1,000klの重油と水素が燃え尽きるのを待った。	
4	26	新潟県 新津市	木造3階建て美容室兼住宅から出火し、隣接するいずれも木造3階建ての店舗2棟延べ約1,000平方mを焼いた。	
5	8	石川県 辰口町	織物会社の工場から出火、木造平屋の工場、2階建て事務所など木造建物4棟約5,500平方mを焼いた。	

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
火災・爆発	5	13	神奈川県 横浜市	横浜中華街の中華料理店から出火し、木造2階建て延べ約1,400平方mのうち約1,000平方mを焼失した。また、隣の中華料理店の一部を焦した。負傷者1人。
	6	14	栃木県 足利市	合成ゴム加工業の工場から出火し、鉄骨平屋建て工場2棟と倉庫、住宅の計4棟約1,000平方mを全焼した。
	6	29	北海道 稚内市	小売市場の店舗から出火、強風にあおられ周辺に燃え移り計23棟約9,000平方mを焼失した。負傷者3人。
	7	5	大阪府 東大阪市	スポンジ加工業の倉庫兼事務所付近から出火し、鉄骨スレート葺き2階建て延べ約660平方mと隣のダンボール箱製造会社の鉄骨スレート葺き2階建て倉庫兼事務所延べ約1,100平方mを全焼した。
	7	16	茨城県 岩井市	豚舎から出火し約1,000平方mを全焼、豚1,350頭が焼け死んだ。
	8	11	神奈川県 川崎市	製鉄所の石炭搬送用のベルトコンベヤーから出火、長さ3kmが燃え、コンベヤーの付属施設の防塵用建物14棟を焼いた。45時間後に鎮火した。
	8	20	香川県 丸亀市	瀬戸内海の本島で林野火災が発生し、島の面積の約4分の1にあたる160ha焼き、15日後に鎮火した。負傷者11人。
	8	24	福岡県 北九州市	木造建物が密集する商店街から出火、11棟16店舗約1,100平方mを全半焼した。
	9	9	大阪府 大阪市	解体工事中の元劇場が爆発音とともに炎上し、鉄筋4階建て地下1階延べ約3,000平方mをほぼ全焼した。南隣の横丁の一角にある飲食店など16店が入った木造2~4階建て店舗約850平方mと、東隣の商業ビルの7、8階部分約400平方mも焼いた。負傷者4人。
	9	9	秋田県 秋田市	寺から出火、木造2階建て本堂、位牌堂、住家など約1,150平方mを全焼した。
	9	11	新潟県 上越市	クリーニング工場付近から出火、住宅や商店に延焼し計6棟約3,800平方mを全焼した。
	9	21	青森県 弘前市	リンゴ販売業の倉庫から出火、木造2階建て同倉庫1,120平方mを全焼すると共に、隣接住宅など3棟も全焼した。
	9	27	三重県 玉城町	紡績工場から出火、敷地約52,000平方mにある工場や倉庫など25棟延べ約22,000平方mのうち、15棟延べ約10,000平方mを焼いた。負傷者1人。
	10	5	大阪府 豊中市	19世帯が入居する木造2階建てアパートから出火し、延べ約1,700平方mを全焼した。さらに、隣接する文化住宅など7棟計約740平方mを全焼し、民家3棟の一部を焼いた。
	10	11	北海道 札幌市	ホームセンターから出火し、鉄骨3階建て約35,000平方mのうち商品庫内部約1,000平方mを焼いた。
	10	27	千葉県 市原市	製油所の石油精製プラント内の軽油脱硫装置から出火、装置内に残っている水素ガスや軽油を燃焼させ続け有毒ガスの発生を防いだ。約6時間後に鎮火した。
11	14	徳島県 土成町	畳工場から出火、鉄骨2階建て作業所約1,200平方mと鉄骨平屋資材置き場約150平方mを全焼した。	
11	23	神奈川県 横浜市	タンカーからパイプを通して注入中の470klのハイオクガソリンが入った油槽所のタンク（直径15m、高さ12m）が爆発、炎上し約6時間後に鎮火した。周囲には7基の石油タンクがあるが延焼をまぬがれた。	
11	24	新潟県 荒川町	畳工場から出火、木造2階建て同工場約1,500平方mと木造2階建て倉庫約400平方mを全焼した。さらに隣接する木造2階建て住宅に延焼し約140平方mを全焼した。	
12	28	北海道 南茅部町	埋蔵文化財調査団事務所から出火し、木造平屋建物約620平方mを全焼した。約9千年前の世界最古とされる漆製品など保管の出土品約8万点を焼失した。事務所にはスプリンクラーや火災報知機は設置されていなかった。	
自動車事故	3	20	山梨県 西桂町	中央自動車道富士吉田下り線で、車14台の玉突き事故が発生した。事故当時、道路から数十m離れた畑で下草を燃やしており、その煙で視界が悪かった。死者4人、負傷者10人。
	6	9	静岡県 熱海市	県道で大型観光バスが対向車線にはみ出し斜面に衝突した。死者1人、負傷者33人。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
自動車事故	7	11	兵庫県淡路町	神戸淡路鳴門自動車道の下り線でバスなど大型車両を含め計9台が次々に衝突した。死者4人、負傷者45人。
	8	4	長野県波田町	国道158号線で乗用車と観光バスが正面衝突し、バスは道路わきの民家に入った。負傷者40人。
	11	23	北海道森町	国道5号の陸橋で大型観光バスと乗用車が衝突し、バスはガードレールを突き破り約8m下の鉄道線路上に転落した。死者1人、負傷者47人。
鉄道事故	2	22	福岡県宗像市	鹿児島線城山トンネル付近で、異常音がしたので点検のため停車していた普通列車（乗客約120人）に後続の快速列車（乗客約180人）が時速約40kmで追突した。快速列車の前から3両目の後部では座席から火の手が上がり、煙が充満した。負傷者109人。
船舶事故	2	11	長崎県五島列島沖	五島列島の西沖約110kmの東シナ海でパナマ船籍貨物船(3,986t)のエンジンルーム浸水、航行不能となり沈没した。死者行方不明7人、負傷者1人。
	6	5	香川県小豆島沖	濃い霧に包まれた瀬戸内海で、日本船籍貨物船(199t)とホンジュラス船籍貨物船(1,573t)が衝突し、日本船籍貨物が沈没した。死者2人、負傷者1人。
	7	25	鹿児島県志布志湾	台風9号の影響で、風速15m前後、波高約7mの中、パナマ船籍の貨物船（約36,000t）が座礁した。船は真ん中から真っ二つに折れ、約7km四方に重油が流出した。死者4人、負傷者1人。
	10	1	長崎県長崎市	長崎港内の造船所の岸壁で、内装工事中の豪華客船(113,000t)から火災が発生し、全体の約4割を焼失した。同船は内装工事中のため、スプリンクラーなどの消火設備は未設置であった。
	10	5	静岡県南伊豆町	石廊崎灯台の沖合でケミカルタンカー(441t)とコンテナ船(53,103t)が衝突し、ケミカルタンカーは石廊崎灯台の西北西約21km沖合いで沈没した。沈没付近の海上で積み荷の有毒な液体キシレンと燃料油が流出し異臭がした。負傷者4人。
	11	26	東京都大島	波浮港沖で台風の影響で10月に座礁していた自動車運搬船（56,800t、新車と中古車計約3,800台を12層に積載）から出火し約3日間燃えた。火災発生後、船尾付近から重油約44klが流出しイセエビ等の生息する漁礁を汚染した。
	12	5	茨城県日立市	日立港の防波堤沿いで貨物船（3,144t）が座礁し、船底に穴があき燃料の重油が流出した。ボランティアらが海面の重油除去を行うと共に、船内に残った約70klの重油を回収した。
	中毒	1	4	広島県西城町
1		29	福井県高浜町	2つの保育所と中学校1校で、園児や生徒ら計232人が吐き気や下痢などの症状を訴えた。保健所は、SRSV（小型球形ウイルス）による食中毒と断定し、給食用パンを納入した業者を営業停止にした。
2		8	北海道旭川市	ホテルの宴会に参加した131人が下痢、吐き気などの症状を訴えた。保健所はSRSV（小型球形ウイルス）による食中毒と断定し、ホテルの調理場を5日間の営業停止にした。
3		4	兵庫県洲本市	群馬県の高校の生徒、教師ら197人が関西方面への修学旅行後に腹痛などの症状を訴えた。保健所はホテルの食事に出された鶏肉が原因の食中毒と断定した。
3		8	東京都千代田区	ホテルに宿泊した修学旅行の高校の生徒、教師ら92人が吐き気などの症状を訴えた事故で、横浜市は横浜中華街の中華料理店でこの食事が原因の食中毒と断定した。同店で食事をした別の団体26人も食中毒症状になった。
5		1	東京都江戸川区	保育園の園児や職員ら34人が、シンナーの強い臭いによるめまいやのどの痛みを訴え、病院で治療を受けた。
5		30	東京都千代田区	看護師や保健士ら約5,000人が参加した集会で、中華弁当を食べた人のうち887人が下痢や腹痛を訴えた。都は中華弁当が原因の食中毒と断定した。
6		28	秋田県秋田市	製錬所のタンクから有毒の発煙硫酸が漏れ出し、気化した白煙が半径1kmの範囲に漂った。事故発生から16時間後にタンク内から発煙硫酸を採取し白煙の流出を止めた。その間、消防は煙に霧状の放水をし、低濃度の硫酸に変化させる作業を行った。負傷者10人。
7		25	茨城県ひたちなか市	関東高校水泳大会に参加した選手らが下痢などを訴えた。県は弁当による病原性大腸菌O-20が原因の集団食中毒と断定した。負傷者401人。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
中毒	8	2	栃木県 宇都宮市	病院と隣接する老人保健施設の入院患者・入所者らが病原性大腸菌 O-157 による集団食中毒にかかった。死者9人、負傷者130人。
	8	7	愛媛県 今治市	事業所などで仕出し店の弁当を食べた従業員ら206人が下痢などの症状を訴えた。県は弁当が原因のサルモネラ菌による集団食中毒と断定した。
その他・ 物的災害	1	22	兵庫県 西宮市	食品会社のミートセンターで、狂牛病対策として実施された国産牛肉の買い上げ制度を悪用し輸入牛肉を国産牛肉と偽って買い取らせていたことが発覚した。
	4	1	全国	銀行の統合準備遅れで大規模なシステム障害が発生した。口座振替障害により、約1ヶ月にわたり口座振替処理の遅れ(ピーク時250万件)、利用料金二重引落としおよび電力会社等委託先企業への結果通知の遅れが発生した。また、ATMでキャッシュカードが利用できない等の誤作動が発生した。
	5	7	全国	郵便貯金の全国の郵貯ATM約2万6千台で提携する民間金融機関約2千のキャッシュカードが使用不能になった。提携する民間金融機関のATMでも郵便貯金のキャッシュカードが使用不能になった。7日夜に復旧した。
	5	29	全国	信用金庫と外部の金融機関を結ぶ信金ネットがダウンし、カードでの外部金融機関との取引が出来なくなった。30日に復旧したが、約40万件の取引に影響した。
	6	10	兵庫県 篠山市	化学工場から化学薬品のフェノールが篠山川に流出し、市の浄水場の取水口に混入した。配水池での劇物フェノールの濃度が国基準値の約70倍になり、約9千世帯が2日間水道水を飲めなくなった。神戸市などが給水車を出した。
	8	6	兵庫県 姫路市	食品会社が、狂牛病対策として実施された国産牛肉の買い上げ制度を悪用し、輸入牛肉を国産と偽って業界団体に買い取らせた。さらに、偽装が発覚するのを恐れ「品質保持期限切れ」という虚偽の理由で偽装肉を業界団体から買戻し焼却処分したことが発覚した。
	8	29	福島県、 新潟県	経済産業省原子力安全・保安院は、福島県、新潟県の三つの原子力発電所で1980年代後半から90年代前半にかけて、原子炉压力容器内のひび割れなどを電力会社が自主点検で発見しながら、29件について記録を改ざんし国に報告しなかったと発表した。その後の調査で、福島県原発では原子炉等規正法違反で一年間の運転停止の行政処分が行われた。
	その他・ 人的災害	1	9	北海道 苫小牧市
1		25	東京都 江戸川区	小学校の児童や家族、教職員ら128人が吐き気や下痢、発熱などの症状を訴えた。保健所はS R S V (小型球形ウイルス) による感染性胃腸炎と断定した。
3		6	兵庫県 神戸市	私立中学の教員が結核を発病し、生徒ら100人が集団感染した。保健所は、感染者に発病を予防する薬を半年間服用するよう指導した。
3		16	兵庫県 洲本市	北海道へのスキー研修に参加した高校の生徒、教師らのうち129人が帰校後、下痢などの症状を訴えた。市保健所は生徒らから家畜などに寄生する病原性原虫クリプトスポリジウムを検出し、同原虫による集団感染とみて感染経路を調べている。
5		25	北海道 札幌市	小学校の児童や教職員ら162人が吐き気や腹痛、下痢などの症状を訴えた。市保健所は感染性胃腸炎と断定した。
6		6	北海道 帯広市	小学生68人と教職員1人が下痢やおう吐を訴え、保健所はS R S V (小型球形ウイルス) によるウイルス性胃腸炎に集団感染したと断定した。
6		29	福岡県 福岡市	保育園園児と職員の計110人が、下痢や腹痛の症状を訴え、保健所は腸管出血性大腸菌 O-157 による集団感染と断定した。
7		15	宮崎県 日向市	温泉施設に入浴した客らから肺炎症状が出て、県保健所はレジオネラ菌による集団感染と断定した。確定患者と感染の疑いのある患者計約290人にのぼる。死者7人。

## (2) 海外事例

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	1	28	インドネシア	28日から30日にかけてインドネシア全土で断続的に大雨が続き、ジャカルタで洪水や地滑りが発生した。中心部に向かう主要道路や高速道路も冠水、道路大渋滞や停電などで都市機能がまひ状態となった。約3万9千戸が浸水などの被害を受け、38万人以上が避難した。少なくとも142人が死亡。
	2	6	アフガニスタン サラン峠	カブールと北部主要都市マザリシャリフを結ぶ幹線道路にあるサラン峠のトンネル(世界最高地3,363m)付近で雪崩発生し、少なくとも20台の通行車両が雪に埋まった。死者7人、負傷者12人。
	2	19	ボリビア ラパス	首都ラパスで豪雨により洪水が発生し、家屋被害は破壊28戸、損傷126戸であった。死者・行方不明者76人、負傷者146人。
	4	5	アフガニスタン ファルヤブ州南部	雪解けで川の水位が上がっていたところに豪雨があり、鉄砲水が発生した。道路事情が悪化、民家約320戸が倒壊した。少なくとも住民39人死亡、羊など家畜約2,000頭死亡。
	4	28	米国 メリーランド州等	4つの州で約30件の竜巻が次々と発生した。特に被害が大きいのはメリーランド州ラプラタで、竜巻のスケールはF5(風速116.7-142.5m/s)。多数の家屋が倒壊し10人が死亡、100人以上が負傷した。
	5	15	インド	各地を熱波が襲い、気温40度後半の暑さになった。南部のアンドラプラデシュ州では1ヶ月間で熱波により約1,100人が死亡した。
	6	8	中国	各地で集中豪雨による洪水などの水害が相次ぎ、死者・行方不明者771人に上る。被害の大きいのは陝西、福建、四川、重慶、江西、湖南、広西、貴州の8省市で、被災者総数は5,400万人。住宅43万戸が倒壊し、被害総額は約2,700億円に上る。
	6	21	ロシア 南西部	南部の北カフカス地方で記録的な豪雨による洪水が発生した。住宅被害はチェチェン共和国やスタブロポリ地方などで全壊約5,000戸、半壊約11,000戸に上る。死者・行方不明者109人、負傷者約1,200人。
	7	1	ペルー	アンデス山中で月初めから寒波の被害が拡大し、約6万人が被災した。死者59人。家畜のアルパカなど約8万頭の動物が死亡した。
	7	15	ネパール コタン郡	山岳地帯でモンスーン豪雨による大規模地滑りが発生し、二つの村の住民が生き埋めになった。死者・行方不明146人。
	8	6	中・東欧州 諸国	中・東欧地域を中心に1~13日にかけて大雨が降り、ドナウ川、エルベ川、ブルタバ(モルダウ)川などが氾濫し、約100年ぶりの大洪水になった。各国の市街地で多くの住宅、商店、工場に被害が出ているほか、農業への影響も深刻化している。被害額はドイツで100~150億ユーロ、オーストリア30億ユーロ、チェコ30億ユーロ、ヨーロッパ全体で150~250億ユーロ以上。死者・行方不明者230人。
	8	10	中国 長江流域	西部雲南省で大雨による洪水や山崩れなどで340人以上が死亡した。また、南部の湖南省でも記録的な豪雨により洞庭湖、長江の水位が危険水位を超え、数ヶ所で漏水した。湖南省だけで525万人が被災し2万7千戸が倒壊した。
	8	30	韓国、北朝鮮	韓国では台風15号の接近に伴い30日から豪雨になり、台風は31日朝鮮半島南部に上陸した。韓国全土で住宅17,000戸と農地5,000haが浸水し、人的被害は死者・行方不明者184人に上る。また、北朝鮮でも数千戸の住宅が浸水し、死者・行方不明者は数十人になった。
	9	8	フランス	地中海沿岸の南フランス一帯で集中豪雨により川の増水、氾濫などが起き、多数の家屋が浸水した。死者・行方不明者32人。
	9	12	グアテマラ	豪雨により山間部で大規模な土砂崩れが発生し、コーヒー農家など約30戸が土砂で埋まった。死者・行方不明者37人。
11	10	米国 東南部	テネシー州、アラバマ州など13州で竜巻が46件以上発生した。テネシー州東部の町モシーグローブでは、教会や学校などを含むほとんどの建物が倒壊した。死者36人、負傷者200人。	
12	8	米国 グアム島	大型で非常に強い台風26号がグアム島に上陸した。全島が停電し、上下水道が寸断され飲料水の確保が困難になった。空港閉鎖により観光客約6千人が足止めされた。全壊家屋1,700戸、半壊家屋2,000戸。死者1人。	
12	9	ブラジル アングラドスレイス市	豪雨により大規模な土砂崩れが発生した。多数の住宅を押し流し、少なくとも30人が死亡、50人が行方不明となった。	

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	12	17	オーストラリア	100年ぶりの大干ばつに見舞われ、主要輸出品の農業出荷額は前年度に比べ21%減少する見通しであり、家畜被害は羊や牛などの半数が死んだ1901～02年の干ばつに匹敵する。乾燥した都市近郊で山火事が多発し、12月初めシドニー周辺だけで70ヶ所で起き約6万haを焼いた。
地震・噴火	1	9	タジキスタン	パミール高原を震源とするM6-7の地震。首都ドゥシャンベの東100kmのラゲンなど4村で住宅など建物の5～9割が全半壊し、約2千人が被災した。死者3人、負傷者50人。
	1	17	コンゴ	ニラゴンゴ山(3,469m)が1977年以来の大噴火を起こした。溶岩が14の村を焼失し、さらに約10km離れたゴマ市街まで達し、各所で火災が発生した。火山性地震続き、市街地の40%が破壊され、地元住民約45万人が避難した。死者60人。
	2	3	トルコ アフヨン	首都アンカラから南西へ約250kmの山岳地帯を震源とするM6.00の地震。アフヨン市近郊一帯で約150戸の建物が倒壊した。死者45人、負傷者150人。
	3	3	アフガニスタン 北東部	ピンズークシ山脈付近を震源とする深さ約200Km、M7.2の地震。北部サマンガン州の山岳部で土砂崩れにより多数生き埋めになる。同州アイバックでも住宅500戸が崩壊した。ウズベキスタンの首都タシケントでも強い揺れを観測した。死者150人、負傷者20人。
	3	6	フィリピン ミンダナオ島	同島スルタンクダラット州沖を震源とする深さ15Km、M7.2の地震。島南部ジェネラルサントスや中部コタバト、ダバオなどの各市で大きな揺れがあり、住宅の壁の崩壊などで死傷した。損壊家屋約800戸、死者7人、負傷者39人。
	3	25	アフガニスタン 北東部	バグラ州ナハリン地区の南方40Kmを震源とするM5.9の地震。25日夜から26日早朝そして27日午後にかけて断続的に地震が発生した。震源に近いナハリン市付近に被害が集中し、約2万人が家屋を失う。死者約2,000人、負傷者約2,000人以上。
	3	31	台湾 花蓮市東方沖	花蓮市東方沖約44Kmを震源とする深さ9.6Km、M6.8の地震。震源地に近い東部地域はほぼ無傷で、台北に被害が集中した。世界最高層ビルの建築現場で、工事用タワークレーン落下し地上の車などを直撃した。与那国島で20cmの津波観測。死者5人、負傷者272人。
	4	12	アフガニスタン 北東部	バグラ州ナハリン地区を震源とする深さ33Km、M5.8の地震。バグラ州のドアビなど四つの村で土造りの家が160戸崩壊し、約50人が死亡、150人が負傷した。
	4	25	グルジア トビリシ	首都トビリシ近郊を震源とするM6の地震。トビリシで、100戸以上の家屋が崩壊し、6人が死亡した。
	6	22	イラン	カズビン州アバジ付近を震源とするM6.3の地震。首都テヘランの西約200kmの町アバジ周辺の約20の村では半数以上の家屋が被害を被った。死者229人、負傷者約1,300人。
	10	27	イタリア シチリア島	エトナ火山(3,323m)が噴火した。溶岩が流出し、山林火災が広がっているほか、山頂近くのレストランやスキーリフトが壊れた。また、地震が数回発生し、ふもとの町、サンタベネリアでは住宅など数百戸に壁が壊れるといった被害が出ている。
	10	31	イタリア	ローマ南東約230kmを震源とするM5.4の地震。震源地に近い町、サンジュリアーノ・ディプーリアでは幼稚園の天井落下、小学校の建物も崩壊した。死者29人、負傷者140人。
	11	2	インドネシア スマトラ島	島北部の深さ33kmを震源とするM7.5の地震。スマトラ島近くにあるシムル島で住宅、事務所など約900戸が全半壊した。死者3人、負傷者60人。
11	3	エクアドル	首都キトの東約100kmにあるレベントドル火山(標高3,561m)が噴火し、周辺住民が避難した。キトは火山灰に覆われ、交通機関はストップし、電気系統が故障するなど都市機能がまひ状態になり、非常事態を宣言した。建物の屋根に登り灰を除去していた市民の転落事故相次ぐ。死者1人、負傷者16人。	
火災・爆発	1	15	パキスタン イスラマバード	16階建て政府庁舎から出火し、ビルの大部分が焼けた。負傷者1人。
	1	27	ナイジェリア ラゴス	市場火災が軍の弾薬集積場に燃え移り、大規模な爆発が発生した。住民が避難の際、群衆に押しつぶされたり運河に落ち溺れるなど580人以上が死亡した。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
火災・爆発	1	31	クウェート	油田でパイプラインから漏れた原油が炎上・爆発した。石油集荷装置、天然ガス送出装置、発電所に火災広がり、翌日夕方ほぼ鎮火した。1-2週間は、同国の産油量の約1/3に当たる日量約60万バレルの減産になる。死者4人、負傷者17人。
	5	23	フランス パリ	イスラエル大使館で火災が発生し、6階建てビル内部がほぼ全焼した。
	6	8	米国 コロラド州	デンバー近郊の国有林内で火災が発生し、約5.5万haと住宅100戸以上を焼き7月2日に鎮火した。
	6	15	米国 カリフォルニア州	ヨセミテ国立公園付近で山火事が起き、3,200haを焼失した。また、消火活動中のC130輸送機が墜落した。死者3人。
	6	18	米国 アリゾナ州	フェニックス近郊で、大規模な山火事が発生し森林19万haと住宅など462戸を焼き7月7日に鎮火した。
	6	20	中国 黒竜江省	炭鉱でガス爆発が発生した。死者・行方不明者116人、負傷者24人。
	7	7	ウクライナ 東部	ドネツク州の炭鉱の地下坑道から火災が発生した。死者33人、負傷者13人。
	7	7	インドネシア スマトラ島	州都パレンバンで、5階建てビル内のカラオケ店から火災が発生し2階以上を全焼し、53人が死亡した。負傷者多数。
	7	8	中国 黒竜江省	鶴崗市の炭鉱でガス爆発がおき、44人が死亡した。
	7	17	米国 オレゴン州	国有林で落雷により火災が発生し、約20万haを焼き9月5日に鎮火した。
	7	20	ペルー リマ	4階建てディスコで火災が起き、30人が死亡、40人以上が負傷した。死因はほとんどが煙による。
	7	21	米国 カリフォルニア州	国有林でキャンプファイアの火から火災が発生、31日までに約3.6万haを焼失した。樹齢3千年以上のジャイアントセコイア巨木群への延焼は免れた。
	8	10	インドネシア、シンガポール、マレーシア	インドネシアのボルネオ島、スマトラ島での野焼きや森林火災による煙により、住民の呼吸器障害、学校の休校、航空機の欠航の慢性化等が周辺諸国まで広がっている。負傷者2,600人。
	8	20	ロシア モスクワ	レンガ造5階建てアパートで爆発があり、2階から上の部分が崩壊した。死者・行方不明者28人以上。
	9	5	ロシア モスクワ	モスクワ周辺の森林地帯で7月下旬に自然発火した火災が広がり、焼失面積は2,500haを超え、火元は190ヶ所に上り、モスクワ中心部でも煙のにおいが漂っている。空港では到着便の一部が視界不良で別の都市に代替着陸している。地中の泥炭層が燃えているため消火が困難である。
	9	16	ナイジェリア ラゴス州	プラスチック工場で火災が発生し全焼した。死者・行方不明者約120人、負傷者11人。
	9	16	ロシア シベリア	シベリアでは今年、過去最悪規模の森林火災が発生したことが、人工衛星を使ったデータ分析で分かった。焼失面積は東京都(22万ha)の5倍に匹敵する約1万平方kmに及び、放出される炭酸ガスによる地球温暖化や生態系破壊が懸念されている。
10	12	インドネシア バリ島	観光地バリ島のディスコ付近で大きな爆発がありディスコは大破して炎上、隣の建物に延焼した。警察は爆弾テロとみて捜査している。死者187人、負傷者300人以上。	
10	23	中国 山西省	国有炭鉱で大規模なガス爆発が起き、作業員66人が閉じ込められた。死者・行方不明者44人。	
10	29	ベトナム ホーチミン市	6階建ての事務所やディスコが入っているビルから出火し、約5時間後に鎮火した。死者60人、負傷者102人。	

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
火災・爆発	11	1	モロッコ エルジャディーダ	収容人員1,000人のところに1,300人収容した刑務所で火災が発生した。有毒ガスとパニックにより死者50人、負傷者40人。
	11	20	エクアドル リオバンバ 近郊	軍の弾薬庫が爆発・炎上し、町のほとんどの家の窓ガラスが壊れた。死者7人、負傷者535人。
	11	21	ナイジェリ アラゴス	国際空港の貨物ターミナルの2階建て輸入品倉庫内で化学薬品が爆発し、事務所、税関、入管、貨物倉庫が全焼した。死者8人、負傷者20人。
	11	30	ベネズエラ カラカス	ホテル地下1階のナイトクラブで出火し、超満員の400人の客、従業員が出口に殺到したが非常口が開かなかった。死者50人、負傷者12人。
	12	31	メキシコ ベラクルス 市	混雑した市場で新年用の花火が次々爆発して出火し、付近の建物に延焼し1ブロックを全焼した。死者・行方不明者75人、負傷者41人。
自動車事故	5	25	インド ウッタルプ ラデシュ州	結婚式帰りの客らに乗せたバスが垂れ下がっていた高圧線に接触し火災が起き、約60人が感電死した。
	7	18	ウガンダ	カンバラの南西約300kmのところでタンクローリーが乗り合いバスに衝突して爆発、両方の車両が炎上した。死者60人。
	11	20	インド マドヤブラ デッシュ州	乗客百人以上が乗った走行中のバスのタイヤが、パーストして横転ガソリンに引火して全焼した。死者約60人以上、負傷者30人。
	11	24	フィリピン ルソン島	山岳地域の道路で走行中のバスがガードレールを破り約10m下の谷に転落した。死者33人、負傷者6人。
鉄道事故	2	5	南アフリカ ダーバン郊 外	ダーバンの北約70kmで、旅客列車が貨物列車に追突し客車6両が脱線した。死者26人、負傷者117人。
	2	20	エジプト カイロ郊外	カイロ発アスワン行き夜行旅客列車で走行中、火災が発生した。運転士が火災に気づくのが遅れ約8km走った後、11両編成の後部7車両を全焼して停止した。死者373人、負傷者約75人。
	2	27	インド グジャラート 州	ヒンズー教徒の活動家が多数乗った急行列車が群集に放火され、少なくとも57人が死亡した。
	4	18	米国 フロリダ州	クレセントシティ郊外で全米鉄道旅客公社の乗員28人、乗客425人を乗せた旅客列車が時速90kmで走行中、14両が脱線、多数の車両がジグザグに折れ曲がった状態で横転した。死者4人、負傷者166人。
	4	23	米国 カリフォル ニア州	ロサンゼルス郊外で全長が2km近い貨物列車が通勤列車（4両編成・乗客約300人）に正面衝突した。通勤列車の前の客車2両が脱線、先頭車両は押しつぶされた。死者2人、負傷者265人。
	5	12	インド ジャウン プル近郊	ニューデリーから東部ビハール州パトナーに向かっていた列車が脱線した。死者10人、負傷者100人。
	5	25	モザンビーク	首都マプトの南約40kmの町テンガで旅客列車と貨物列車が衝突した。死者約200人、負傷者約400人。
	6	24	タンザニア	同国中部の町ドドマ近くで、夜行列車が急こう配の丘を登っている途中で故障し坂を下る形で逆走、貨物列車に衝突した。死者約200人、負傷者800人。
	7	29	米国 メリーラ ンド州	ケンジントンで長距離旅客列車(15両編成)が脱線、6両が横転した。負傷者101人。
9	9	インド ビハール 州	特急列車が鉄橋で脱線、少なくとも1両が川に転落した。死者約100人、負傷者約150人。	
船舶事故	5	3	バングラデ シュ	悪天候の中メグナ川を航行中のフェリーがチャンドプル付近で沈没した。死者・行方不明者369人。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
船舶事故	9	26	セネガル	ガンビア沖で首都のダカールに向かっていたフェリーが強風にあおられ沈没した。死者・行方不明者974人。
	10	6	イエメン ムカラ沖	航行中のフランス船籍の大型タンカー(299,000t)が爆発・炎上し、船体側面に開いた穴から多量の積載原油が流出した。行方不明者1人、負傷者17人。
	10	22	アゼルバイ ジャン	バクー沖約140kmのカスピ海で石油輸送をしていた大型フェリーが悪天候のため沈没し、ドラム缶に入った約1,000tの石油が流出した。死者・行方不明者42人、負傷者9人。
	11	3	インドネシ ア	アンボン島沖で300人以上が乗船する連絡船(定員100人)が沈没した。死者・行方不明者約75人。
	11	13	スペイン 北西部沖	沖250kmの大西洋で悪天候の中、バハマ船籍の大型重油タンカーが航行不能になり、沈没した。積載重油約7万tのうち5,000tが流出、スペイン北西部の海岸を300kmにわたり漂流し、ラクルニャ周辺約40kmの海岸汚染は甚大である。
航空機事故	1	28	コロンビア	エクアドルの首都キトからコロンビアのカリに向かう予定の航空会社のB727型旅客機が、コロンビア南西部の山中に墜落した。乗客・乗員92人全員死亡。
	2	12	イラン	テヘランからホラマバードに向かう途中の民間航空会社の国内線ツポレフ154旅客機(118人乗り)が着陸直前、山岳地帯に墜落した。死者118人。
	4	15	韓国 釜山市近郊	中国の航空機B767機(166人乗り)が金海国際空港近くの住宅地に近い山間部に激突、炎上した。現場付近は強い風雨と濃霧で視界が悪かった。死者・行方不明者128人、負傷者38人。
	4	18	イタリア ミラノ	スイス南部の町ロカルノを離陸し、ミラノ近郊のリナーテ空港に向かっていた小型プロペラ機がSOS発信後、30階建て高層ビルの25階付近に衝突、衝突階付近は火災が発生し、大きな穴が開いた。操縦士とビル内にいた2人の計3人死亡。負傷者90人。
	5	4	ナイジェリ ア カノ	ジョス発ラゴス行き国内線旅客機(乗客・乗員76人)が中継地のカノを飛び立った直後、住宅密集地に墜落し、機体はモスクや学校など3棟をなぎ倒して炎上した。死者148人。
	5	7	中国 大連市	北京発大連行きMD82型旅客機が大連空港の沖の海上に墜落した。乗客・乗員112人全員死亡。
	5	25	台湾	台湾海峡にある澎湖諸島北東の海上に台北発香港行き225人乗り旅客機B747が墜落した。死者・行方不明者225人。
	7	1	ドイツ ボーデン湖 付近	ロシア民間航空会社の旅客機ツポレフ154(乗員・乗客69人)と輸送会社の貨物機B757(乗員2人)が空中衝突・大破・炎上・墜落した。ボーデン湖近くの観光都市ユーバリンゲンに破片散乱した。死者71人。
	7	27	ウクライナ リボフ	空軍基地での航空ショーで、演技飛行中のロシア製スホイ27戦闘機が墜落し見物客の中に突込み・炎上した。死者84人、負傷者116人。
その他	5	26	米国 オクラホマ 州	アーカンソー川に架かる幹線道路の橋脚にはしけが激突、橋が約120mにわたり崩落した。乗用車、トラックなど12台が川に転落した。死者13人、負傷者5人。
	6	4	シリア	オロンテス川にあるダムに亀裂入り決壊し、10人が死亡し、下流の村の住宅100戸や周囲の農地が浸水する被害が出た。隣接するトルコ南部の農地も浸水した。
	9	20	ロシア南部	北オセチア共和国のコバン渓谷で氷河の一部が崩壊、ふもとの村を直撃した。死者・行方不明104人。
	10	23	ロシア モスクワ	劇場にチェチェン武装集団約50人が押し入り人質約700人をとり占拠した。26日特殊部隊が劇場に突入り、犯人のほぼ全員を射殺した。突入の際、特殊ガスを使用したため人質約120人が死亡した。

( 研究部研究グループ )